

# 令和6年度 鹿児島県 地域による 地域のための 畜産バイオマスエネルギー 導入促進連続セミナー

現地、オンラインの  
ハイブリット開催

参加無料、要申込

◆ 本事業は、鹿児島県「畜産バイオマスエネルギー導入促進事業業務委託」の一部として実施します。



個別型バイオガスプラント



集中型バイオガスプラント

家畜ふん尿をはじめとする、地域にあるバイオマス資源を有効活用し、地域に再生可能エネルギーと有機肥料を供給する「畜産バイオガス事業」は、太陽光発電や風力発電とは異なり、発電事業であることに加えて、地域で生計をたてる酪農業におけるふん尿処理の課題解決（悪臭対策、ふん尿処理の労働力軽減、河川汚染防止対策など）のための手段として導入されています。さらに、衛生的なバイオ液肥を農地に還元することで、畑作や稲作での化学肥料削減、肥料生産による地域資源循環が促されています。

北海道が全国に先駆けバイオガスプラントが導入され、近年は、鹿児島県や宮崎県をはじめとする、南九州においても導入や検討が進められています。本連続セミナーでは、こうした先進的な畜産バイオガス事業に関わる官庁、農業者、研究者等から、導入効果、検討の過程、そして「思い」を参加者との意見交換を交えながら、ノウハウを共有する「地域による 地域のための 畜産バイオマスエネルギー導入促進連続セミナー」を開催します。

- 各回の予定内容は下表のとおりです。各回13：30～15：30
- 対象者は、畜産バイオガス事業について検討又は実施している方（畜産農家、耕種農家、自治体職員、農業関係機関の職員、地域企業の職員等）。裏面からお申込みください。

連続講座テーマ	1回目 自治体におけるバイオガス事業に取り組む意義	2回目 農業者がバイオガス事業に取り組む意義と営農メリット	3回目 バイオ液肥の有効性と家畜衛生
日時	2025年 2月19日（水）	2025年 2月21日（金）	2025年 2月28日（金）
場所	鹿屋市串良農村環境改善センター大会議室	南九州市知覧文化会館 中会議室	奄美市役所名瀬総合支所 3階小会議室
内容	バイオガスが守る食と環境	バイオガスに取り組み、酪農が変わった	バイオガスが作り出す地域循環
	環境省まちづくりアドバイザー 菊池 貞雄 氏	野村牧場 （北海道釧路市）	帯広畜産大学 名誉教授 梅津 一孝 氏
	官民共同でのバイオガス事業	畜産バイオマスを活用した有機のまちづくり	家畜衛生の視点からのバイオガス事業と鹿児島での必要性
	北海道湧別町農政課参事 山川 渉 氏	本部農場 （宮崎県新富町）	元鹿児島県技監 北野 良夫 氏
バイオマスリサーチ（株）からの各テーマに沿った情報提供			
意見交換・質疑応答			

